



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第2号
平成27年5月21日
校長 松丸 晴美

「ベストを尽くすこと、
協力して取り組むことに意義がある」

初夏の風にのり、組み体操の練習の太鼓の合図が聞こえてきます。あと2週間余りで運動会です。

今年から、国際理解教育に力を入れる本校は、東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校に指定されました。オリンピック・パラリンピックを切り口にして、ゲストティーチャーを招いたり、多様な視点から学習を行い、新しく教育目標に加えた「国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒」の育成に努めていきたいと考えています。

さて、現在の近代オリンピックは、フランスのクーベルタン男爵が「スポーツを通して体と心を鍛える」「大会を通して、世界のいろいろな国の人々と交流し、友情を育み、平和な社会を築いていく」ことを目指して、世界的なスポーツ大会を開こうと提唱したのが始まりです。

クーベルタン男爵の「オリンピックは参加することに意義がある」という言葉は有名ですが、この言葉には続きがあります。

「人生において大切なことは、成功することではなく、努力することである」という言葉です。

これを運動会に置き換えてみると、「運動会は優勝することではなく、自分のベストを尽くすこと、クラスで団結して取り組むことに意義がある」となるでしょうか？とは言っても「優勝」はクラスの大きな目標であり、励みにもなります。

練習の過程も本番も、そして運営のための係活動も三位一体で今年も充実した運動会になることを願っています。

さて、5年後の2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

1964年に東京で開催されたオリンピックは、戦後の日本のめざましい復興を世界に示し、日本人が自信を取り戻し、その後の発展への大きな起爆剤となった大会でもありました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、日本はどのような姿を、どのようなメッセージを世界に発信していけばよいのでしょうか？私の考えるキーワードは、「国際貢献」「ボランティア」そして「日本流おもてなし」です。

生徒には、これからのオリンピック・パラリンピック学習を通じて色々なことを調べ、学び、自分なりの関わり方を考えてほしいと思っています。

★世界の共通語とも言える「英語」。今年度は全学年で習熟度別少人数学習を行うため3人のALTが配置されました。恥ずかしがらずどんどん英語で話しかけてみましょう！第一歩は「英語に慣れる」ことでは？

【Glen Michie 先生】

・スコットランドから来ました。日本に来る前は、イギリスでカメラマンや郵便局の局長をしていました。ギターを弾くことができます。メタルバンドのボーカルもやっています。

【George Torres 先生】

・アメリカのシカゴから来ました。日本では5年教えています。石西中は、給食も美味しいです。生徒の英語力を伸ばすこと、英語を話す機会をたくさんつくること、自信をもたせてあげられるようにしたいです。

【Aaron Layfield 先生】

・イギリスのケンブリッジから来ました。日本に来てまだ1ヶ月なので、石西中が初めて訪れた日本の中学校です。生徒の皆さんはとても友好的で、毎日わくわくして過ごしています。

【だいぶ中学校にも慣れてきました 第1学年より】

第1学年主任 志村 美智子 主任教諭

入学してから早くもひと月が立ちました。最初は、授業で教室移動のたびに校内を迷っていた1年生も少しずつ学校に慣れ、部活も正式部員となって、だんだん顔が引きしまってきました。

学年の指導目標は、学年カラーのみどり色から『(み)みんな元気で、けじめのある学年。(ど)努力し、本気で取り組む学年。(り)理解し合い、思いやりのある学年。』を掲げているのですが、現在のところ、目標通りに学校生活を送れています。授業やクラス活動など前向きに取り組み、部活動にも一生懸命です。その中でも、一番感動したことは、友達に対して思いやりがあるということです。ケガをした友達や困っている友達の手助けを、当たり前のように自主的に行うなど、多くの場面で目撃しました。

こんな素晴らしい学年を、新緑カラーの学年を枯らさないよう、教員一同ますます頑張っていこうと気を引き締めております。また、学校と家庭が協力し合って、生徒中心の学年作りを目指しますので、どうぞ気軽に声をかけてください。これから3年間、よろしく願いいたします。

【中堅学年として落ち着いた学校生活を送っています 第2学年より】

第2学年主任 三輪 辰也 主幹教諭

進級をして早1ヶ月、子どもたちも新しいクラスにも慣れ始めているようです。先日行われた1年生との合同体育では、運動会における組み体操やダンスの練習を行いました。その中で、2年生が1年生を指導・支援する場面がありました。上級生としての自覚からか丁寧に指導をしている姿に驚かされました。「先輩」としてとても立派でした。

さて、新2年生の学年目標ですが、以下の通りです。

- ・ 明るく健康で、燃える学年
- ・ 学習意欲を持ち、まじめに取り組む学年
- ・ けじめがあり善し悪しを自ら判断できる学年
- ・ 互いのよさを認め高め合う学年

われわれ教職員も目標に向かってしっかり指導してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。



【最上級としての自覚をもち後輩をリードしています 第3学年より】

第3学年主任 飯塚 貴子 主任教諭

緑の葉が青々としてまいりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、早いもので生徒たちは最上級生となりました。この最後の一年間を西中で過ごすにあたり、先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎ、大変なことがあると同時にまたやりがいも感じていることと思います。

現在、修学旅行のコース決りを各クラスで行っています。世界遺産をはじめとする日本文化についての事前学習にも取り組んでいます。また、国際的な視野を広げ体験的な学習の一つとして現地で外国の方にインタビューを行う企画も立てております。

修学旅行が終わるとすぐに運動会です。3年生が1、2年生の見本としての確に指示を出すような場面が多く出てきます。今から3年生としての活躍が楽しみです。

生徒たちは、行事などを通して様々な実力を発揮し確実に成長していきます。今年度は進路を決定する大切な年です。それゆえ、生徒たちは目の前にあることを着実に積み重ねる忍耐や努力が要求されます。3年生全員がチームとして、各自の進路決定まで無事に団体戦が乗り越えられるよう、教職員も新たなメンバーを迎え、指導・支援してまいります。ご家庭の皆様方と手を取り合い、頑張ります。よろしく願い致します。



【アフリカンミュージックにのりみんなで踊りました 鑑賞教室】

音楽科 土井 奈苗 教諭

5月1日（金）に芸術鑑賞教室が行われました。今年度は、アフリカンミュージックJOYコンサートということで、本場のアフリカンミュージックを体感することができました。

音楽だけでなく、言葉、楽器、文化、化粧、ダンス、生活、環境など、様々なことを知ることができました。

踊ったり、歌ったり、楽しんでいる姿を見ていたら、音楽を通しアフリカと日本の心の触れ合いを見られたような気がして、音楽というのは、世界共通であり、人と人とを繋げてくれるものだと改めて感じました。

音楽は、他の国の文化を知るための素晴らしい方法であることや、異国の人も音楽を大切にしていることに気づけた鑑賞教室だったと思います。

音楽を通し、外国文化に触れることで、異文化への視野を広げるいい機会になったと思います。



【図書室がさらに充実しました！！】

学校図書館管理員 茂田井 操

今年度から、学校図書館管理員として石神井西中学校に勤務することになりました。よろしくお願いします。

学校図書館管理員の主な仕事は、図書室の整備、選書、学習に必要な本を揃えるなどして、学習のサポートをすることです。また、図書委員会の活動がより活発になるように、アドバイスしたり、協力したりもします。

調べ物をしたい、探している本が見つからない、おもしろい本が読みたい、本をリクエストしたいなど、いつでも気軽に声をかけてください。石神井西中の図書室が利用しやすく、安らぎの場になるよう、本の展示や、掲示物、装飾など様々な工夫をしていきたいと考えています。

図書室は、読書の場であるとともに、皆さんの疑問、質問を解決できる資料がある場所です。情報がたくさん詰まった図書室を上手に利用して、皆さんの中学校生活を豊かなものにしてみませんか？

まずは図書室に足を運んでみてください。お待ちしております。

